

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

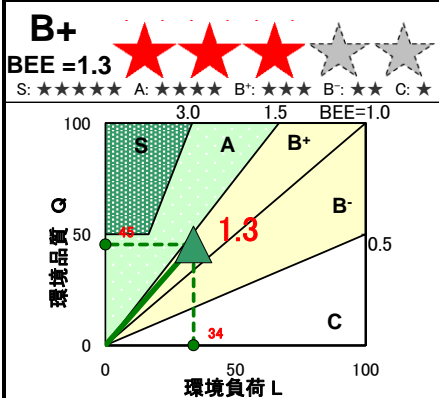
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)中央区大手通2丁目計画	
建設地	中央区大手通2丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	関電不動産開発(株)	
設計者	(株)FKOアーキデザイン	
敷地面積	404.13	m ²
建築面積	269.08	m ²
延床面積	2,999.05	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上15階
完了年(予定)	2020年12月	

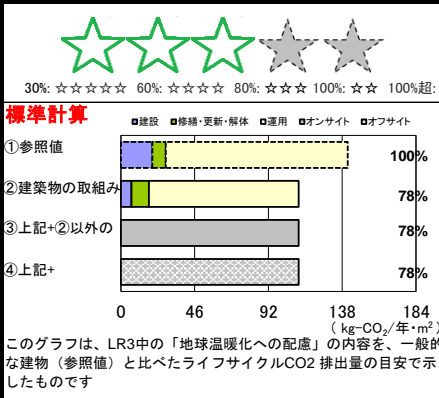
1-2 外観



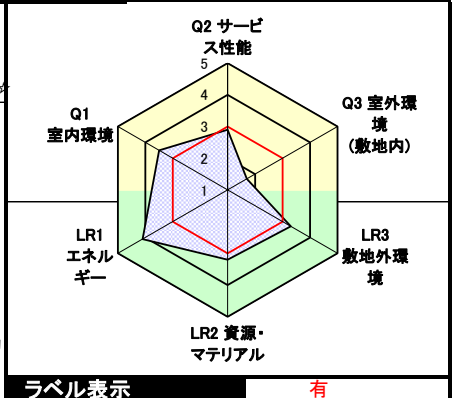
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



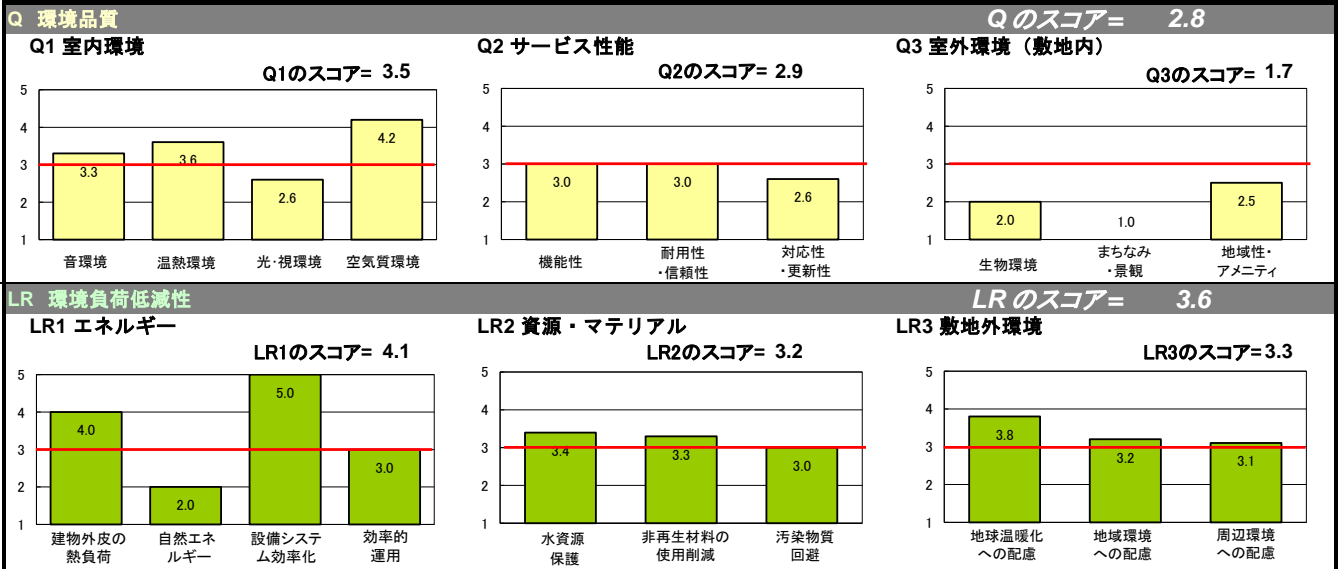
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境 専有部分においては、外皮性能は品確法の等級4を全住戸において満たし、開口部の遮音性能を高めることで室内環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 配管材料については耐久性の高いものを採用したほか、維持管理が容易な室の配置計画及び材料の選定を行うことで、性能が長期間保たれるように配慮した。
LR1 エネルギー 断熱材は高断熱性能のものを使用し、建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 外壁にはGL工法とすることで、将来の更新及び修繕の計画が容易となるように配慮したほか、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地の周囲には極力緑化を設ける計画とすることで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に寄与したほか、燃焼機器を採用しない計画とした。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = **1.3**

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8 LCCO2:78%
配慮事項	建物内に設置する機器はLEDなどの高効率機器を採用するなどし「建設時」「運用時」「解体時」における「運用時」に発生するCO2を低く抑える計画とした。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 特に無し
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0 特に無し
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0 特に無し
配慮事項	緑化については可能な限り計画し、敷地内の快適性向上に努めた。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 品確法の等級4相当の基準を満たす
配慮事項	全住戸について、品確法の等級4基準を満たす性能とすることで、高断熱住宅となるように計画した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0 BEI=0.84(建物全体)
配慮事項	高効率機器を積極的に採用することで、省エネルギー基準を下回る建物となるように計画した。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.84	住宅部分[BEI] 0.84	非住宅部分[BEI][BEI _m] -

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 44 ） m <input type="checkbox"/> 地上部 （ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 208.0 ） m ²
エ 概算年間熱利用量	（ 181,083 ） MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり （例：設備用基礎の設置） （ 設備用基礎の設置 ）
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ）	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	（ ） m ²
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）
備考	